



令和3年12月16日14時00分

資料配布 近畿地方整備局

福井河川国道事務所

「第3回 ちゅうぶ じゅうかん 中部縦貫自動車道事業費等監理会議」を開催しました。

おおの あぶらさか
大野油坂道路事業の事業費等を適正に監理することを目的に、近畿地方整備局、福井県が相互に連携・協力し、事業進捗状況、今後の見通し及び事業費等について情報共有を図るため、「第3回中部縦貫自動車道事業費等監理会議」を開催しました。

1. 日時： 令和3年12月13日（月） 10：30～11：30

2. 場所： 福井県庁2階中会議室

3. 議題： 大野油坂道路事業の進捗状況等

4. 出席者：【福井県】土木部長、道路建設課長、高規格道路課長

【近畿地方整備局】道路部長（WEB参加）、福井河川国道事務所長

5. 議事概要：別紙の通り

6. 会議資料：別紙の通り

<取扱い> _____

<配布場所> 福井県政記者クラブ

<問合せ先> 国土交通省 近畿地方整備局 福井河川国道事務所

副所長 なかがわ まさし 中川 匡史（内線 205）

電話：0776-35-2661（代表）

第3回 中部縦貫自動車道事業費等監理会議 議事概要

1. 開催日時：令和3年12月13日（月）10：30～11：30

2. 開催場所：福井県庁2階中会議室

近畿地方整備局災害対策室（WEB会議）

3. 出席者：福井県 土木部長 西出 俊亮
道路建設課長 平林 透
高規格道路課長 貴田 勝太郎
近畿地方整備局
道路部長 小林 賢太郎
福井河川国道事務所長 宮本 久仁彦

4. 議 事：

○大野油坂道路事業の進捗状況等（資料－1）について説明し、以下について確認した。

（事業進捗について）

- ・大野～大野東（仮称）、和泉（仮称）～油坂出入口について、現時点では、概ね順調に工事が進捗している。
- ・大野東（仮称）～和泉（仮称）の荒島第2トンネルについて、令和3年5～8月の間、勝原IC側で、地山状況が悪化し掘削の進捗が著しく低下している。
- ・大野～和泉（仮称）（延長19.5km）については、令和4年度開通を目指して事業を推進しているが、荒島第2トンネルにおいて、地山状況が悪く、工程が遅れている状況であり、今後2箇所の断層帯が想定されていることから、その掘削状況を踏まえて工程を精査し、安全第一で工事を進めていく。和泉（仮称）～油坂出入口（延長15.5km）については、令和8年春開通を目指して事業を推進していく。
- ・これに対して、福井県から、
 - ① 引き続き、大野～和泉（仮称）の令和4年度中の開通をお願いしたく、安全確保を前提として、工程を精査されたい。
 - ② 事業進捗状況について、県民、報道機関等に情報提供されたい。

との要請があった。

（事業費監理について）

- ・再評価時（令和元年11月）に事業費の増額が大きかったトンネル工事の進捗状況等について報告し、現時点で再評価時（令和元年11月）の想定と比較して大きな状況の変化はない。
- ・事業費監理の今後の対応として、再評価の時点（令和元年11月）の想定と異なる事象が確認された場合や自然災害など事前にリスクが想定できない事象が生じた場合は、その都度速やかに情報提供する。

（コスト縮減の取組について）

- ・今後も、国と県で連携や情報交換を図り、コスト縮減に努めながら事業を推進していく。

以 上

第3回 中部縦貫自動車道事業費等監理会議 次 第

日 時： 令和3年12月13日(月)10:30～11:30
会 場： 福井県庁 2階中会議室
近畿地整 7階災害対策室

I. 開 会

II. 挨拶

III. 議 題

1. 事業の進捗状況等

IV. 閉 会

第3回 中部縦貫自動車道事業費等監理会議
出席者名簿

[敬称略]

福井県	土木部長	西出 俊亮
	道路建設課長	平林 透
	高規格道路課長	貴田 勝太郎
近畿地方整備局	道路部長	小林 賢太郎
	福井河川国道事務所長	宮本 久仁彦

第3回

中部縦貫自動車道事業費等監理会議資料

令和3年12月13日

福井河川国道事務所

目次

- I. 大野油坂道路事業の概要
- II. 主な事業進捗状況
- III. 今後の見通し

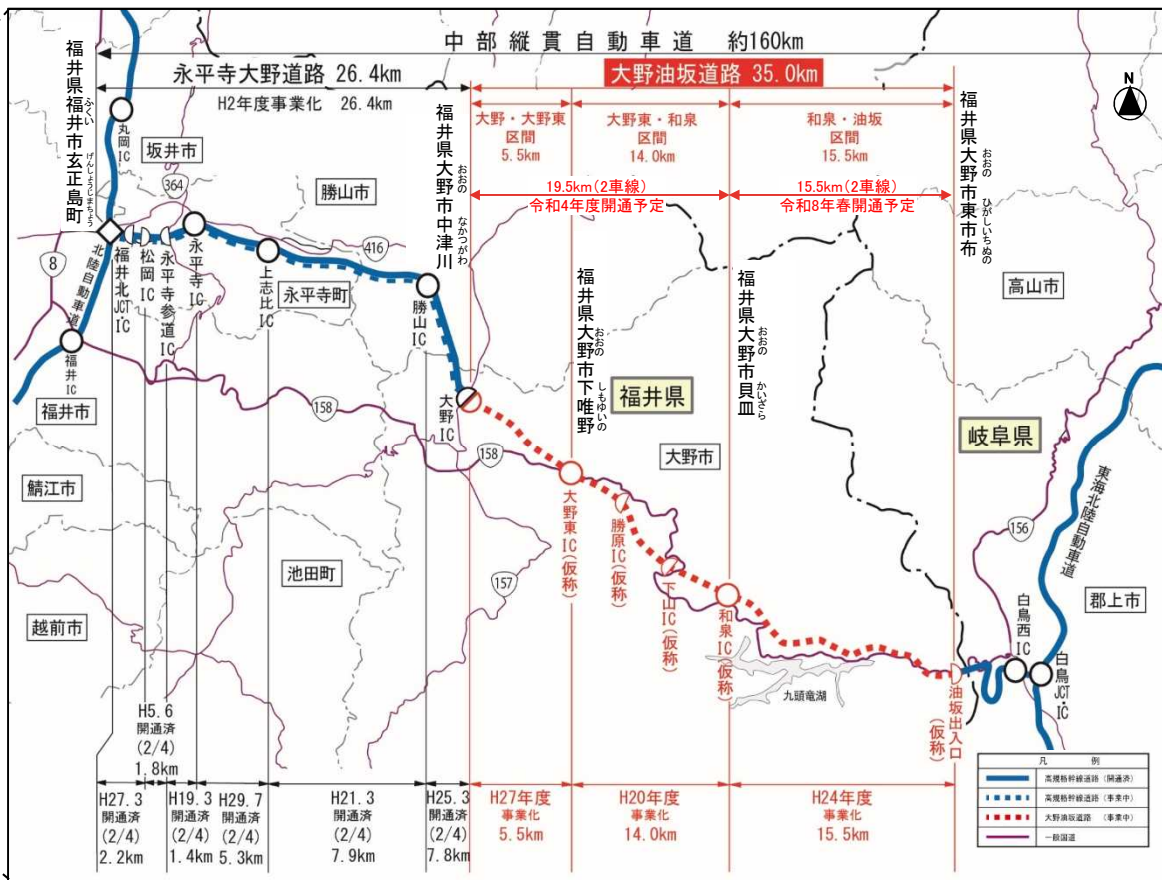
1. 大野油坂道路事業の概要

1. 大野油坂道路事業の概要

中部縦貫自動車道は、長野県松本市を起点に飛騨、奥越地方を通過し、福井県に至る約160kmの高規格幹線道路(自動車専用道路)であり、中央自動車道長野線、東海北陸自動車道、北陸自動車道を相互に連絡して広域交通の円滑化を図ることを目的としています。

「大野油坂道路」は、中部縦貫自動車道の福井県域を構成し、高速道路ネットワークの形成、災害時の代替路の確保、異常気象時の交通の確保を目的とした自動車専用道路です。

位置図



広域図



1. 大野油坂道路事業の概要

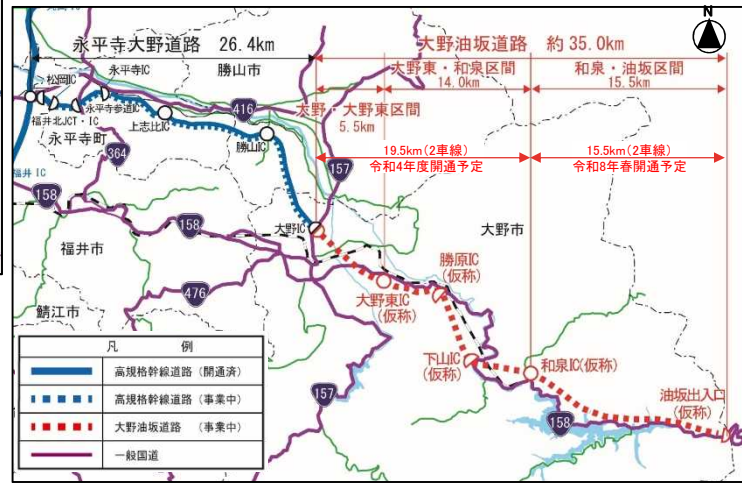
事業の目的

- 高速道路ネットワークの形成
- 災害時の代替路の確保
- 異常気象時の交通の確保

事業の概要・進捗状況



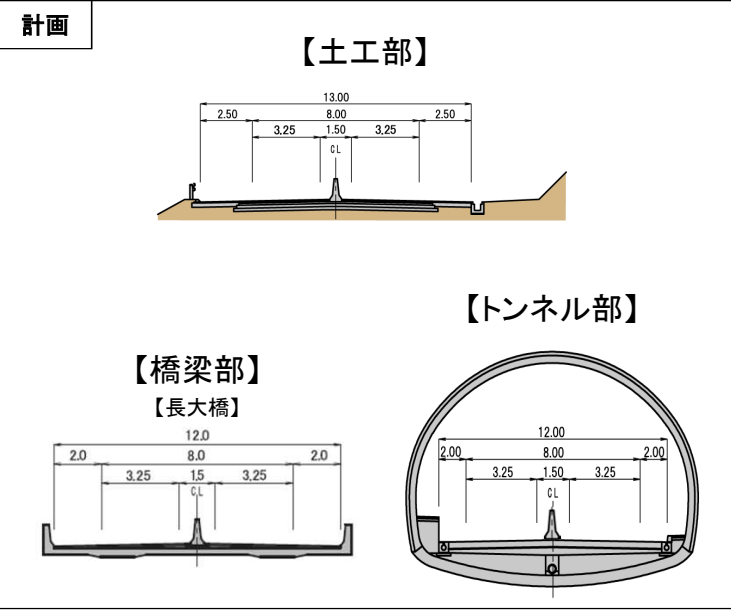
平面図



区 間	大野油坂道路 【大野・大野東区間】 (起) 福井県大野市 中津川 (終) 福井県大野市 下唯野	大野油坂道路 【大野東・和泉区間】 (起) 福井県大野市 下唯野 (終) 福井県大野市 負血	大野油坂道路 【和泉・油坂区間】 (起) 福井県大野市 負血 (終) 福井県大野市 東市布
道路延長	5.5km	14.0km	15.5km
構造規格	第1種4級	第1種4級	第1種4級
設計速度	60km/h	60km/h	60km/h
車 線 数	2車線	2車線	2車線
標準幅員	13.0m	13.0m	13.0m
計画交通量	9,100台/日	9,600台/日	8,400台/日
全体事業費	約243億円	約948億円	約1,119億円
事業化	平成27年度	平成20年度	平成24年度
都市計画決定	-	-	-
用地着手	平成30年度	平成24年度	平成26年度
工事着手	令和元年度	平成26年度	平成29年度
開通延長	-	-	-
事業進捗率 (令和3年3月末現在)	約38%	約69%	約31%
用地取得率 (令和3年3月末現在)	100%(面積ベース)	100%(面積ベース)	100%(面積ベース)

標準断面図

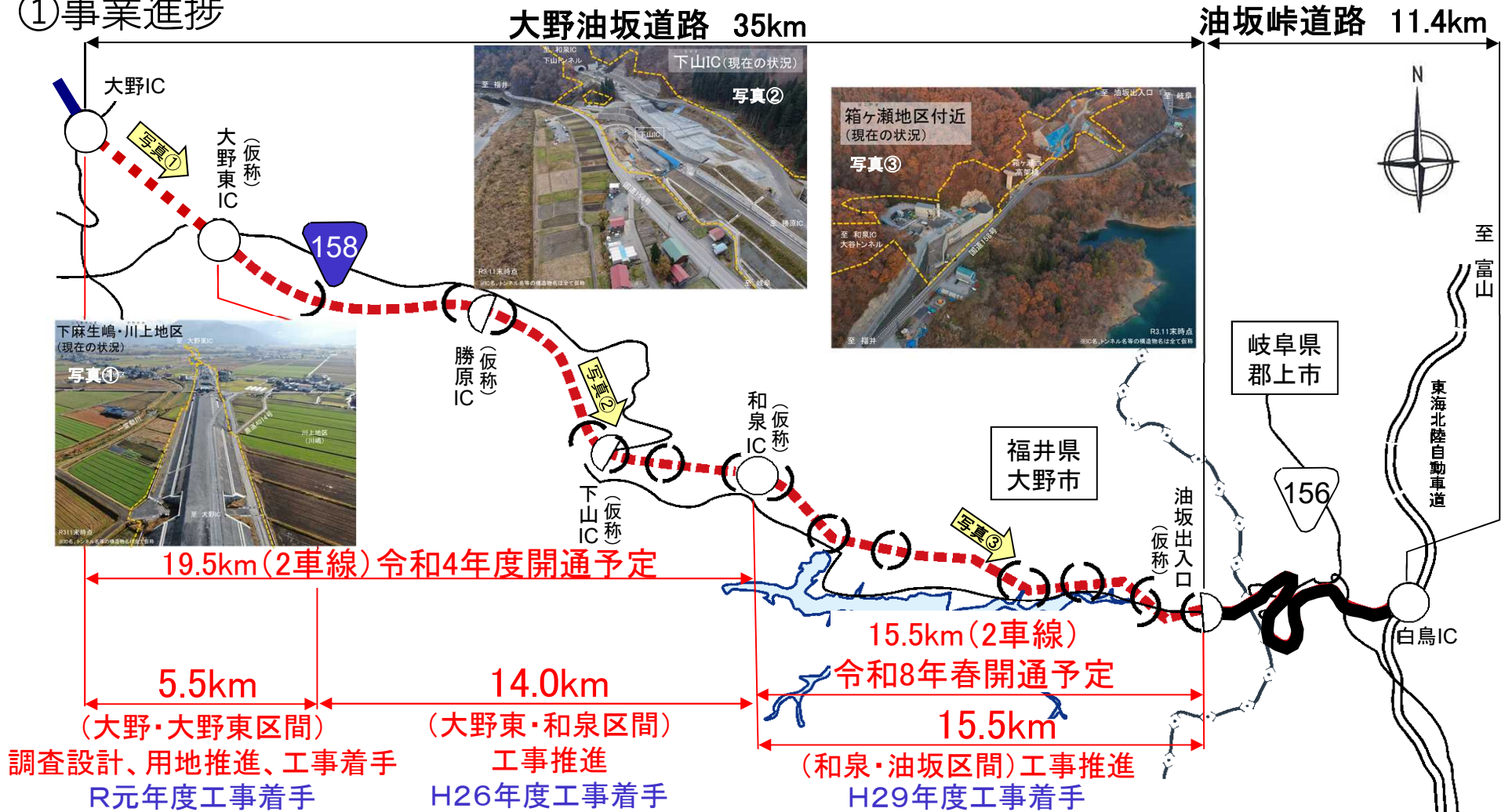
[単位: m]



II. 主な事業進捗状況

II. 事業の進捗状況

①事業進捗



		大野・大野東 5.5km	大野東・和泉 14.0km	和泉・油坂区間 15.5km
構造物	全体	橋梁10本	トンネル4本、橋梁5本	トンネル6本、橋梁20本
	着手済	橋梁10本 (+2本)	トンネル4本、橋梁5本	トンネル5本、橋梁14本 (+2本)
事業進捗率(R3.3末時点)		約38%	約69%	約31%

【R3.11末現在】

()はR3.5以降着手箇所

おのおのあぶらさか おおの おおのひがし
令和3年11月末 大野油坂道路（大野・大野東区間）
橋梁および改良工事を推進しています。

位置図



たの **D 田野地区**

改良工事を行っています。



なかつがわ **A 中津川地区**

大野ICの状況です。



しもあそうじま **B 下麻生嶋地区**

真名川橋の下部工事を行っています。



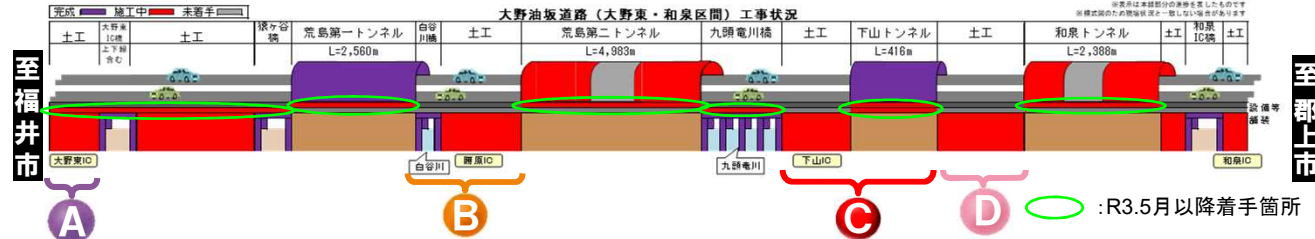
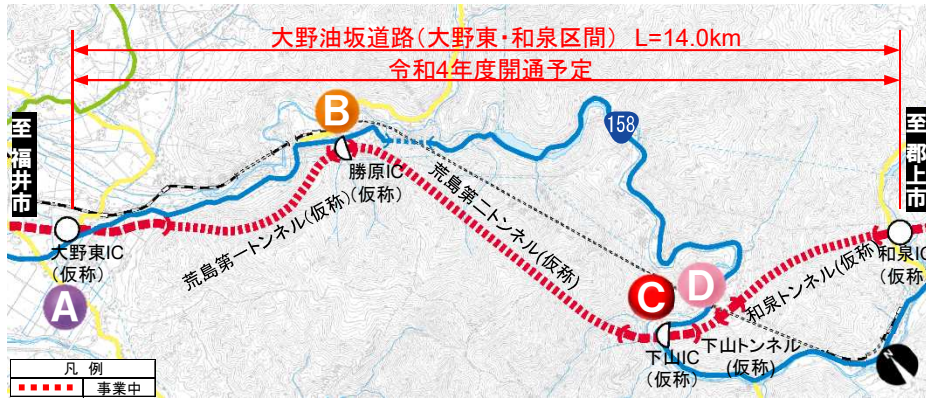
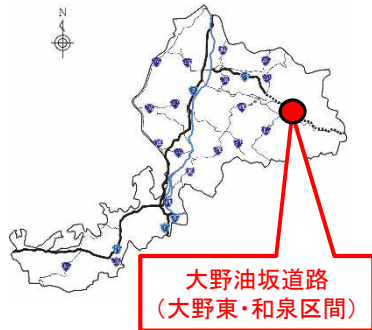
かわかみ **C 川上地区**

堂動川橋の下部工事を行っています。



おおの あぶらさか おおのひがし いずみ
令和3年11月末 大野油坂道路（大野東・和泉区間）
トンネルおよび改良工事を推進しています。

位置図



おかばた
D 岡畑地区

改良工事を行っています。



しもゆいの
A 下唯野地区

大野東ICの状況です。



かどはら
B 勝原地区

勝原ICの状況です。



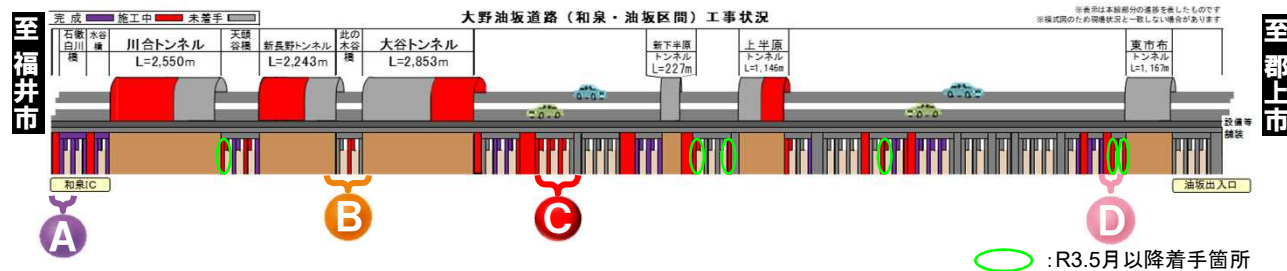
しもやま
C 下山地区

下山ICの状況です。



おおの あぶらさか いずみ あぶらさか

令和3年11月末 大野油坂道路（和泉・油坂区間） トンネル、橋梁および改良工事を推進しています。



ひがしちめの D 東市布地区



かいざら A 貝皿地区



のじり B 野尻地区



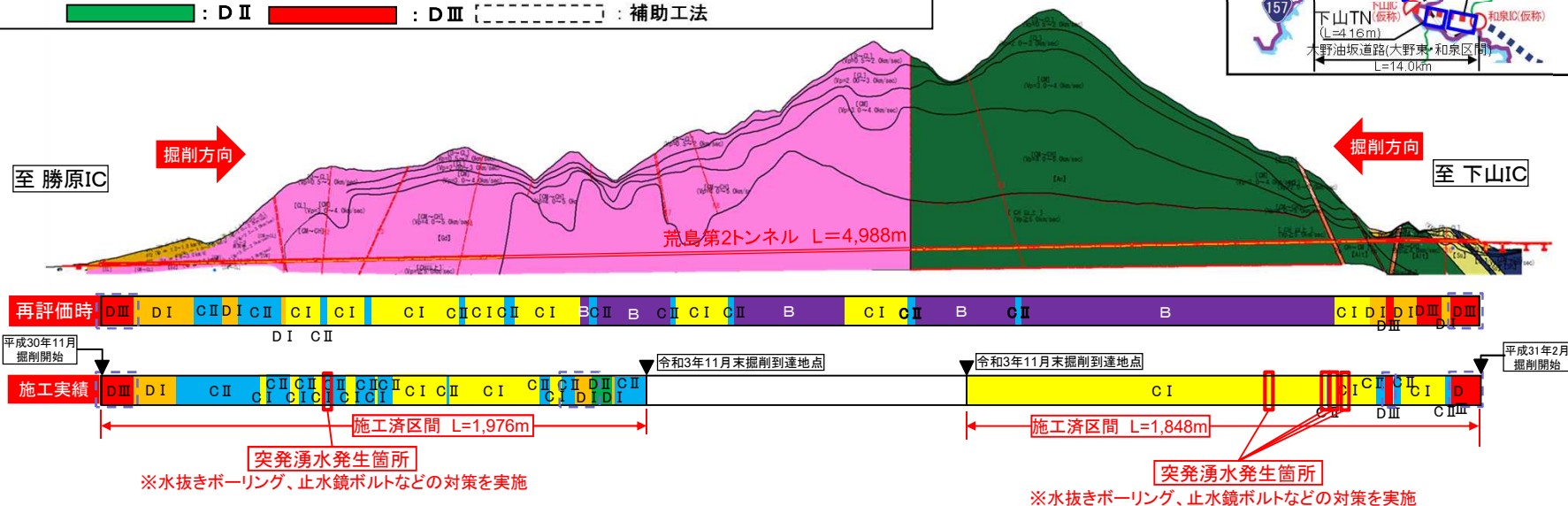
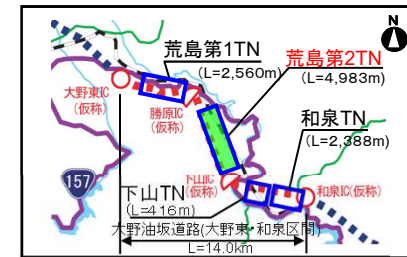
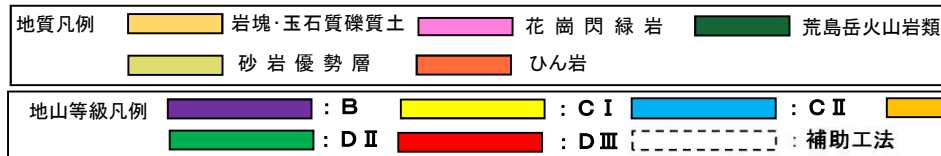
はこがせ C 箱ヶ瀬地区



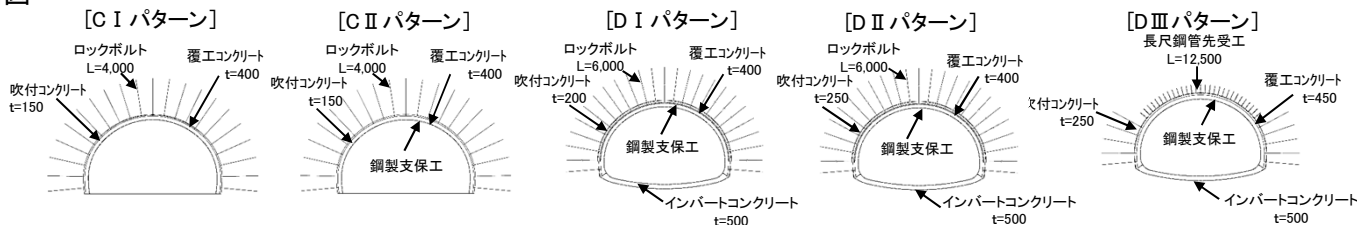
II. 大野油坂道路（大野東・和泉区間）のトンネル進捗状況

- 荒島第2トンネルは平成30年11月より掘削を開始。
- トンネル延長4,983mのうち、3,824m(約77%)の掘削が完了。【令和3年11月末現在】
- 再評価の時点(令和元年11月)と比較して、勝原IC側ではR3.5より支保パターンがD I、D IIと地山状況が悪化したもののトンネル全体では事業費に大きな変化はない。

■ 荒島第2トンネル地質縦断図



■ 断面図

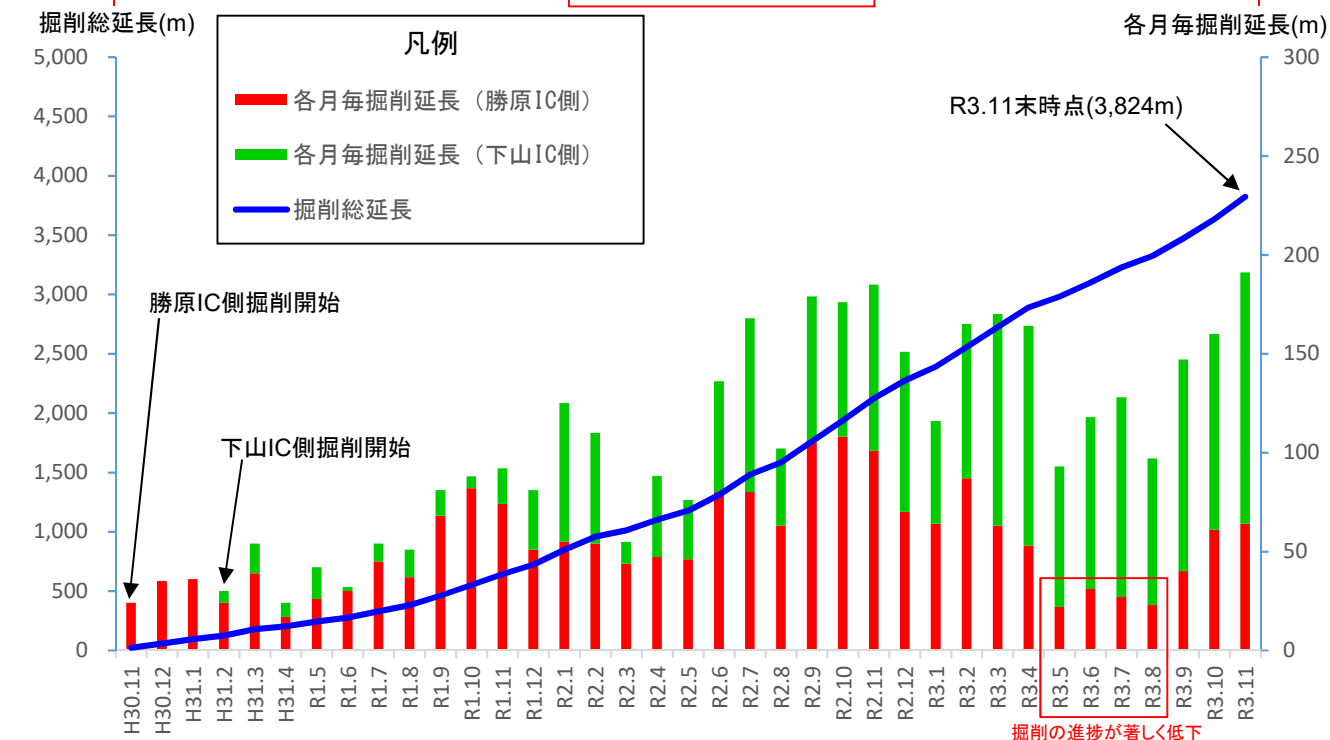


II. 大野油坂道路（大野東・和泉区間）のトンネル進捗状況

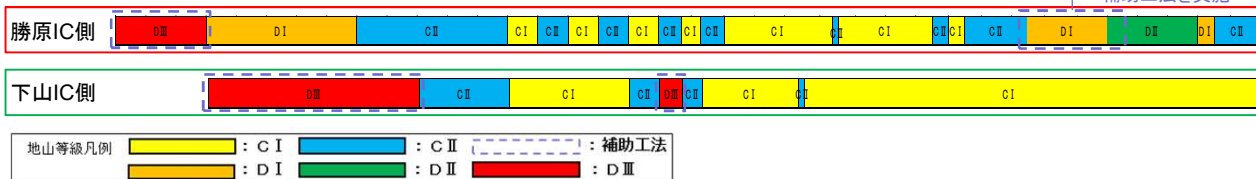
- R3.5～8において勝原IC側で地山状況の悪化とともに掘削の進捗が著しく低下。
- 今後2箇所の断層帯の掘削を予定しており、地山状況により工事工程が左右されるため、有識者からもご意見を頂きながら、引き続きトンネルの掘削状況を注視するとともに、安全第一でトンネル掘削工事を進めていく。

荒島第2トンネルの掘削状況

荒島第2トンネル(4,983m)



地質状況



勝原IC側切羽の状況(R2.11: 支保パターンC I)



勝原IC側切羽の状況(R3.6: 支保パターンD I)

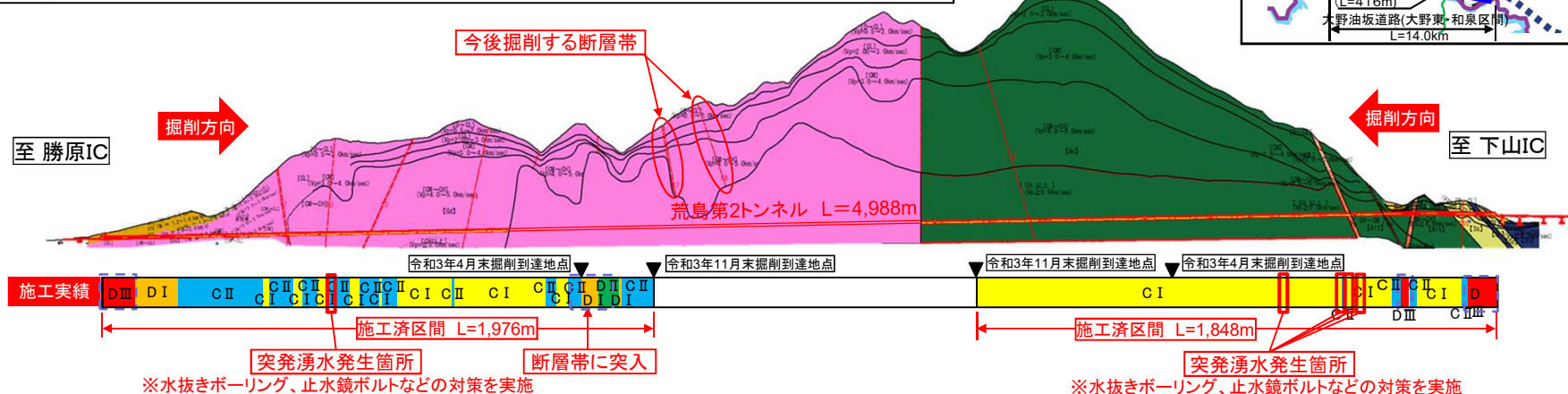
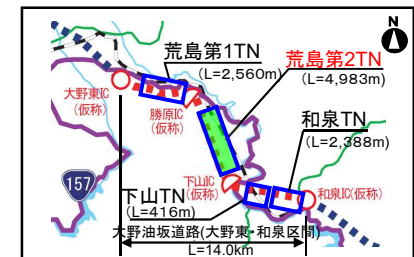
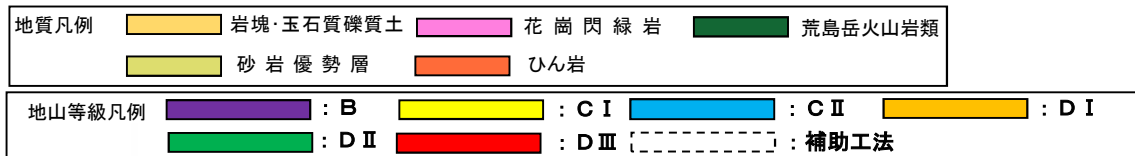


勝原IC側切羽の状況(R3.9: 支保パターンD II)

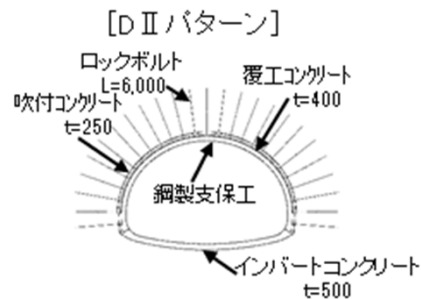
II. 大野油坂道路（大野東・和泉区間）のトンネル進捗状況（参考）

- 荒島第2トンネルについて令和3年8月23日に有識者へ技術相談を実施。
- 荒島岳は火山により形成されたカルデラの跡地形で水が溜まっていることは明らかであり、今後掘削を予定している断層帯は、背後に地下水がある前提で、事前調査に加え、掘削前後の状況確認を適切に行いつつ、掘削を進めるとよいとの助言を頂いた。

■ 荒島第2トンネル地質縦断図



■ 断面図 (R3.11末現在)



技術相談の様子

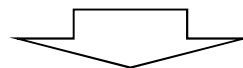


現地確認の様子

II. 今後の事業費監理について

■ 主な事業費増加要因の施工状況に応じた確認

- 地質状況や支持層の位置等、事業費増の要因となる情報や工事の進捗状況等について、事業費等監理会議で情報共有

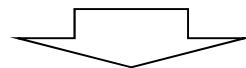


再評価時(令和元年11月)の想定と異なる事象が確認された場合は、その都度速やかに情報共有

■ 事前にリスクを想定できない事象が生じた場合の対応

<事前に想定できないリスク>

- ・ 豪雨、洪水、地震等の自然災害に起因し工事目的物等に損害が生じた場合の対策
- ・ トンネル掘削中にヒ素などの自然由来重金属が出てきた場合の土壌汚染対策法に基づく処分
- ・ 急激な物価上昇など、事前にリスクを想定できない事象の発生 など



その都度速やかに情報共有

Ⅲ. 今後の見通し

Ⅲ. 今後の見通し

1) 今後のスケジュール等

- 大野油坂道路(大野^{おおの}～和泉^{いずみ}(仮称))延長19.5kmについては、令和4年度開通を目指して事業を推進しているところですが、荒島第2トンネルにおいて、地山の状況が悪く、工程が遅れている状況です。
今後2箇所^{2箇所}の断層帯が想定されており、その掘削状況等を踏まえて工程を精査し、安全第一で工事を進めていきます。
- 大野油坂道路(和泉^{いずみ}(仮称)～油坂出入口^{あぶらさか})延長15.5kmについては、令和8年春開通を目指して事業を推進していきます。

2) コスト縮減

- これまでトンネルの水路構造の変更などのコスト縮減に努めてきており、今後も技術の進展に伴う新技術・新工法の採用など、コスト縮減に努めながら、引き続き事業を推進していきます。